

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) (099) 210-8230
自己評価作成日	令和6年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いこいの広場の理念・「ゆっくりと楽しく過ごして頂く」・「明るい環境の中での笑顔に共感」・「家族や地域交流を大切にする」を大切にしながら、入居者の皆様と共に毎日を生活しています。一緒に調理をしたり掃除をしたり、のんびりと一緒にお茶を飲んだり、理念にもあるように「ゆっくりと楽しく過ごす」事を頭に入れながら明るく、笑顔で、日々支援しています。明るく開放的なリビングと、目の前に広がる雄大な桜島を毎日見ながら生活し、近所にスーパーや農協、慈眼寺公園、考古歴史館など様々な施設があり、ドライブや季節の行事などを皆様と一緒に楽しんでいます。これから先も様々な事に挑戦し毎日を楽しく過ごして行きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は2階が住宅型有料老人ホームとなっている。近所にはコンビニストアや公園・ふるさと考古歴史館等があり、買物支援やドライブ支援を行っている。
- ・コロナ感染5類移行後は、近隣の大学へ花見に出かけたり、デイサービスと合同で敬老会や運動会を開催して、パン食い競争・玉入れ・物渡し競争等で全員が楽しめるよう支援している。
- ・管理者や職員は、利用者がゆっくりと自分らしく生活できるよう、寄り添い、明るく笑顔で日々関わっている。
- ・本人や家族の希望で、協力医療機関が主治医となり、月2回の訪問診療と必要時訪問看護と24時間医療連携体制で適切な医療が受けられるよう支援している。看取り支援も主治医や訪問看護・家族・職員で連携しながらチームで支援し、グリーフケアの支援もしている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	いこいの広場の理念「ゆっくりと楽しく過ごしていただく」「明るい環境の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」を念頭に取り組んでいる。	理念は事務所やホールに掲示し、パンフレットや重要事項説明書・毎月発行の便にも掲載している。理念は毎朝、申し送り時に唱和し、必要時に理念に基づくケアについて振り返り、次に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方から野菜などの差し入れを持って来て頂いたり、気軽に挨拶をして頂いたりと交流をしている。	町内会に加入し回覧板で地域情報を得ている。ゴミ置き場の清掃や地域夏まつりの見物に出かけている。近隣の方から旬野菜の差し入れやホーム近くの散歩時に挨拶をしている。地域のこども110番の指定を受けて、子供が立ち寄ったりする。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議などで、認知症の方々が、ご理解頂ける様に話をしたりと、取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の場で、いこいでの取り組みを報告したり、参加者の方々からご意見を頂きながら、サービスの向上に取り組んでいる。	定期的に対面での会議を開催し入居者状況やホームの活動報告をしている。同時に消防署職員を招いて夜間想定で避難訓練を実施し避難通路に障害物を置かない等の指導をうけたり、参加者の質問や意見など職員に報告しサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議では、長寿あんしんセンター（地域包括支援センター）の職員に内容報告したり、毎年介護相談員を受け入れたりと、協力関係を築いている。	市担当者とは窓口に出向き、認定更新、おむつ申請等を行ったり、電話で相談し助言をもらっている。生活保護担当者とは年1～2回、利用者と面談があり、毎月出向いたり必要時電話で報告し情報共有している。介護相談員を受け入れている。市主催の研修に対面やウェブで参加し職員に伝達している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が、身体拘束の具体的な行為があり、どのような被害が起こるかを理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルがあり、身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催し、資料や事例を用いて学び、スピーチロック・虐待・禁止の対象となる具体的な行為について学んでいる。日中の玄関施錠はせず外に出たがる場合は、職員と一緒に散歩している。センサー使用の場合、家族の許可を得て、定期的に意見交換し記録している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会を行い、虐待などに対して理解し、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	いつでも支援が出来る様に制度について学習している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者本人や御家族に充分なご理解を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望を表せる機会がある	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、好きな音楽も流している。家族からは電話や玄関での対面面会時に、利用者の状況報告を行い意見や要望を聞いている。毎月、便を発行し行事時の利用者の写真と別紙に生活状況を一筆し郵送報告し、意見や要望を言える機会を設け、意見を反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている	管理者は毎月、職員会議や申し送り・日々の関わりの中で意見や提案をその都度聞いている。「どうですか」と声かけし意見を言える雰囲気作りを心がけている。個人面談を年1回実施し、必要時も行っている。要望で希望休や介護ケアについて等に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる。また近所の施設などに訪問し交流している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居した時は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をしたりと努めている	家族や知人等は玄関で自由に面会ができ、電話や手紙の取次ぎや荷物の受け取り等の途切れない支援に努めている。ふるさと考古歴史館へのドライブ支援や家族の協力で買物や馴染みの訪問理美容師に依頼し整髪支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも相談に応じたり、こちらから定期的に連絡したりと、退所後の支援に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している	日々のコミュニケーションの中で特に入浴時や居室で思いや意向を把握している。困難な場合は表情や動作等、生活歴や家族の意見を基に職員で話し合い、本人の立場に立ち支援し、申し送りノートに記録し全員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる	本人や家族の意見・主治医や薬剤師の意見・職員の意見を基に利用者の趣味も反映させ介護計画を作成し、家族に説明し了解を得ている。モニタリングは新規の場合は1ヶ月・3ヶ月で実施し、その後は、6ヶ月毎に実施し見直している。状況変化時はその都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一つのサービスにとらわれずにその時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している	本人や家族の希望する協力医療機関が主治医となり、月2回の訪問診療と必要時、家族または職員が同伴受診している。体調変化時訪問看護がある。その都度電話や毎月の便りで報告している。必要時歯科医の往診があり、他科受診は基本的に家族に依頼している。24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している	入居契約時、マニュアルに基づいて説明し、同意書をもらっている。重度化した場合、医療機関で管理者同席で、家族に病状説明を行い、家族の意思確認している。看取り時は、訪問看護・職員・家族と連携しながら支援し、グリーフケアも行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。	防災訓練を昼夜間想定で年2回実施している。消防署立会では、地震・火災想定のお知らせ、避難誘導訓練、消火訓練を実施。講話で火災時対応の重要性を再認識し、自主訓練も実施している。前日に近隣住民への声掛けで協力体制を構築している。防災機器の点検を年2回業者依頼で実施している。備蓄は水・ラーメン・缶詰・カレー・レトルト食品・ゼリー等の食料品とカセットコンロ・懐中電灯・発電機等がある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている。また職員間でも気を付けている	年1回マニュアルに基づき人権擁護・虐待・接遇マナー等について学び、言葉遣いや対応に気をつけている。排泄時や入浴時は羞恥心に配慮し自尊心を傷つけないよう、声掛けやドアの開閉、バスタオルを掛ける等の対応をしている。個別に応じて自己決定できるよう関わっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思是尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みで服を選んでいただき、ご自分ですることが困難な方には、職員が一緒になって支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の中で、入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている。	利用者の好みを取り入れ職員が献立作成し、旬の食材を使って調理している。食形態も普通食からとろみ食迄、利用者の状態に応じて提供している。行事食のおせちは重箱にしたり、敬老の日は紅白饅頭、クリスマスはケーキを提供する等、楽しみとなるよう工夫している。日々の食事の準備も利用者と一緒に盛り付けや配膳・お盆ふきをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスなど、かかりつけの主治医の意見を聞いて一人ひとりに応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来ない方は、スタッフと一緒に、口腔内の清潔保持に取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を目標に一人ひとりのタイミングに合わせ声をかけている。また失敗しても自尊心を傷つけない様にしている。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、時間帯やそわそわする動作等、それぞれのタイミングに合わせて声かけし、トイレでの排泄支援をしている。失禁時、自尊心を傷つけないよう対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々排泄の確認し、食物繊維を含む食事を提供したり、毎日の体操や、水分摂取など予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴を行なえる様に体制を整えている。一人ひとりがゆっくりと入浴できるように支援している。	基本的に週3回午前中に入浴支援で、希望に応じて湯温は調整している。時々入浴剤を使ったり、季節のゆず湯で支援している。拒否の場合は、時間をずらす等の対応で支援し、全身清拭や足浴でも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息など声をかけて休んで頂いたり、就寝前など騒音や雑音が出ない様に取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬している薬のファイルがあるので、すぐに確認できるように取り組んでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様それぞれ得意分野があるので、一人ひとり役割を持って頂き支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣への散歩や買物には出かけて楽しまれている。また遠方の外出は、ご家族の協力を得ながら支援している。	年間行事計画を作成し日常的に近隣の散歩や買い物に出かけている。ふるさと考古歴史館へのドライブや近隣大学への花見・地域夏まつりの見物や初詣に出かけたり、家族の協力で買い物やドライブ等を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に出かける時など、高額では無いが自分で使用できるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	広間には受話器の子機や手紙用の筆記用具を準備し、いつでも利用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に、居心地良く過して頂ける様に、温湿度や採光に気を付けている。また近隣の方から頂いた季節の野菜などを使用した食事の提供など心がけ取り組んでいる。	ホールから雄大な桜島が見渡せ採光はカーテンで調整し、換気・温湿度を確認しながらエアコンで調整し、居心地よく過ごせる環境を心掛けている。対面式のキッチンで利用者状況を見守っている。テーブル・椅子・テレビ・ソファ等を配置し、壁には季節行事の写真や折り紙で作った作品を掲示し、利用者はそれぞれ自由に過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では利用者の皆様が自由に過して頂ける様に配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全てでは無いが、ご家族と相談しながら、本人の馴染みのある物を置いて生活をして頂いている。	居室は電動ベッド・タンス・エアコンを設置し、寝具類は持ち込みである。利用者が安心して過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内のハード面を活かし、なるべくご自分でされるように声を掛けたり、支援をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない